



エコアクション21 認証・登録事業者

前田建設株式会社

代表取締役社長 前田 誠さん

に伺いました。

Q. エコアクション21 を始めてよかったことは？

A. 入社早々、エコアクション21 の取得を目指す担当になりました。電気ガス水道…、自社における環境負荷のデータを収集することから始めました。

私が大切にしている言葉「ABC」…「(A) あたりまえのことを (B) バカにせず (C) ちゃんとやろう」とも合致して、とにかく整理整頓と無駄を省くことで経営の効率化を図り、環境に向き合う基本的な姿勢を学ぶことができました。

社長になった今では、環境負荷の管理もビジネス版 LINE で行っています。毎月のガソリン使用量もリアルタイムで確認できます。変化に気付けると、すぐに指示できるメリットがあります。また、点在する現場の安全パトロールも、その場で写真をアップして情報を共有。社内連絡も、電話、FAX、メールをやめたら、働く時間に余裕が生まれています。建設業界は土曜日でも仕事ですが、週休2日を実現したいです。



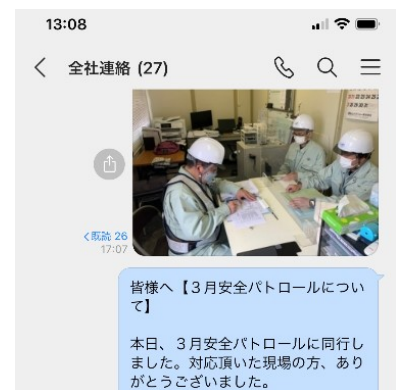
前田建設株式会社 <https://www.maeken.com/>

エコアクション21 認証・登録 2016年9月

今年度創業130周年を迎えるのを前に、昨年11月に39歳で5代目に就任。

建設業界における「教育」を重要課題と位置づけ、「富山県SDGs宣言」では目標の一つに設定。資格取得を積極的に支援するなど、人材育成に力を注いでいます。

環境経営マネジメントにとどまらない取組みをご紹介いただきました。



エコアクションの取組みの一つ、現場の安全パトロールもスマートフォンで情報共有。

Q. SDGs 宣言目標に「教育」を選んだ理由は？

A. 建設業界では、若手の担い手不足が深刻ですが、我が社では2年連続で地元の高卒社員を採用しました。社内で新入社員教育のスキームを確立し、建築士や施工管理技士といった現場管理に必要な資格取得を積極的に支援しています。大きな仕事にチャレンジできる環境を整え、やりがいを感じてもらえたらと。おかげさまで、若手の雇用継続につながっています。

新入社員研修では、入社年度の近い社員1名をメンターにつけるのですが、研修の一環で日記を交換しています。じっくり考えて文字で記すと、自分の成長を目で見て振り返ることができるかと好評です。これはこれで、アナログの良さがあるのです。



富山市立大久保小学校での出前授業の様子(2021年9月)

Q. どんな授業になりましたか？

A. 例えば、4年生の「三角形」の授業では、地震に備えて我々が設置しているブレース、「筋交い」の基本構造は三角形であることを説明しました。社員自ら考えて、段ボールで等身大の見本を製作したのは、私も正直驚きました。

参加した子どもたちからも、「わかりやすい」という声があがり、学校で勉強している図形が建設現場で役立っていることを理解してくれた様子でした。

一番うれしかったのは、「建設の仕事将来やってみたいと思う？」とたずねると、大勢の子が手を挙げてくれたことです。将来のキャリア選択にも役立てば、なおうれしいです。



ジオパワーシステムを導入した蟹谷こども園(小矢部市)
認定こども園としては、国内初の ZEB Ready 建築となった。
子どもたちが裸足でも、夏はサラリ、冬は暖かく過ごしやすい。

Q. 昨年、大久保小学校の耐震化工事にあわせて出前授業を企画されたそうですね。

A. 新型コロナのため校外学習が中止になっていた矢先、校長先生から工事車両を見学できないかと依頼がありました。日頃の子どもたちの様子から工事に興味があるとは感じていましたが、若い世代に「建設」について知ってもらえるチャンスと捉え、出前授業について、学校と相談しながら進めました。

「はたらく車」、「三角形」、「ドローン」…と、学年別に興味を持ってもらえそうなテーマについて担任の先生と社員が打ち合わせ、授業内容を企画しました。はっきり言って、むちゃぶりです(笑)。結果的には、社員の意識やプレゼンテーション能力の向上にもつながり、大成功でした。



社員が製作したブレース(筋交い)の模型

Q. 環境経営の今後については？

A. エコアクション 21 で、環境経営の基本的な条件はクリアできていますが、一方、時代もどんどん変化していきます。SDGs へ関心が高まり、今度はカーボンニュートラルと、どんどん加速しています。

企業経営にも、環境の視点は欠かせません。地中熱を利用した換気システム(ジオパワーシステム)を導入した蟹谷こども園は、認定こども園としては国内で初めて ZEB Ready 認証を取得しました。

これからも自然エネルギーの積極的な活用により、快適で生活しやすい建築を普及させ、地域貢献を果たしていきたいです。